

令和4年度 第3回 草加市地域公共交通会議 会議録

1 開催日時

令和5年1月12日(木) 午前10時30分から

2 開催場所

中央公民館 第1・2講座室

3 出席者の氏名

- (1) 委員 草加市 小谷 明 委員(会長)
東京理科大学元教授 内山 久雄 委員(副会長)
東武バスセントラル(株) 深津 光市 委員
朝日自動車(株) 田沼 健一 委員
国際興業(株) 小平氏(代理)
東武鉄道(株) 小瀧 正和 委員
草加市町会連合会 鳥海 昭美 委員
(旧)草加市婦人連合会 大谷 久美子 委員
草加商工会議所 山崎 修 委員
(福)草加市社会福祉協議会 馬場 博 委員
(福)草加市社会福祉事業団 下国 季樹 委員
東武バス労働組合 浅原 努 委員
草加警察署 高津 善太 委員
埼玉県企画財政部交通政策課 伊藤 太佳博 委員
- (2) 欠席者 (一社)埼玉県バス協会 関根 肇 委員
(一社)埼玉県乗用自動車協会 三上 秀樹 委員
草加市タクシー協会 吉田 隆彦 委員
草加市すこやかクラブ連合会 小暮 徹 委員
国土交通省埼玉運輸支局 細野 桂一 委員
- (3) 事務局 草加市 福島市民生活部長
草加市 菅沼市民生活部副部長
草加市 田口交通対策課長
草加市 柴田交通対策課長補佐(兼)交通安全係長
草加市 南雲交通対策課交通政策係長
草加市 上田交通対策課交通政策係主事
草加市 家崎交通対策課交通政策係主事
(株)東京建設コンサルタント 佐藤氏 小安氏
- (4) 傍聴者 なし

4 会議の議題

議事

- ・パリポリくんバス新田ルート of 改善計画案について
- ・地域公共交通会議のウェブ会議方式導入について

報告

- ・地域公共交通計画策定に係る方針等（案）について
- ・パリポリくんバス3ルート of 運行実績について

5 配布資料

- ・資料1 「パリポリくんバス新田ルート of 改善計画案について」
- ・資料2 「地域公共交通会議のウェブ会議方式導入について」
- ・資料3—1 「地域公共交通計画策定に係る方針等（案）について」
- ・資料3—2 「地域公共交通計画に係る個別施策(コミュニティバス)について」
- ・資料4 「パリポリくんバス3ルート of 運行実績について」
- ・参考資料 「令和3年度実施の新田ルートアンケート調査の結果について」
- ・参考資料 「草加市地域公共交通会議委員名簿」
- ・参考資料 「席次表」

6 委員会運営に当たっての諸事項

- ・本委員会の録音および会議録の署名、公開について委員の了承を得た。

7 会議録の署名について

- ・会議録の署名委員については、名簿順に持ち回りで会長、副会長と、代理の方を除いて上と下から1名ずつ指名させていただくことになっているため、(旧)草加市婦人連合会の太谷委員と草加商工会議所の山崎委員が署名委員の指名を受けた。

議事 パリポリくんバス新田ルートの改善計画案について

- ・パリポリくんバス新田ルートは利用者が少なく、計画に基づく改善運行計画を実施することが必要な旨を説明した。
- ・過年度のアンケート調査結果から、路線バスと役割が競合している点や、所要時間が長い点などが課題となっていることが分かったため、路線バスと役割を分担し、所要時間を短縮することを前提とし、既存のバス停を可能な限り維持した改善運行案を提示した。
- ・改善運行案は、新田駅までのアクセスを残す場合のルートと新田駅を全く経由しない場合の2案を考えており、今回の会議にて決定したい旨を説明した。

会長（小谷会長）

- ・事務局の方から説明がありました。新田ルートは令和6年度に向けて、運行の評価が必要となってきます。今まで皆様から頂いたご意見を踏まえ、案①、案②といったルート変更を一度試みてみようという提案になります。皆さんの方からご意見、ご質問はございますでしょうか。
- ・案②は新田駅を通らないというものになります。前回内山先生から頂いた役割分担という話もありましたため、あえて新田駅を通らないというルートになっています。
- ・現在、新田駅の東西口で区画整理事業をやっております。今後、街も駅前が大きく変わっていきます。それに伴った利用者の変化もあるかもしれません。ただ、それまでにはまだ時間がかかります。また、獨協大学の西側についても大きな商業施設ができつつあります。住宅もできていく予定です。そのため、獨協大学前の駅まではバスルートが必要であるという状況もあります。
- ・当然、市立病院まで行く方が実際にはどれだけいるのかという点については未知数ではありますが、ご意見として数多く頂いてはいるのですが、車やタクシーを実際には利用するということも考えられます。ただ、コミュニティバスの運行を計画するに際して、市立病院を起点とした交通不便地域の解消ということを掲げておりますので、これについては計画に沿った形でやらせていただきたいと思いますと考えております。

（福）草加市社会福祉事業団（下国委員）

- ・パリポリくんバスを利用するにあたって、所要時間が長いというのがアンケートでありましたが、私も同じように認識しております。そういった中で今回示していただいた案があるわけですが、案①については、病院から新栄団地に向かう際の所要時間が従来と変わらないという点が気になるところです。案②については、どちらの方向においても所要時間が短縮されていて一つポイントになるのかと思います。
- ・新田駅を通る、通らないということに関しては、従来の路線バスでまかなえているということがありますので、必ずしも通る必要があるのかということについては一考の必要があるのかと思います。

草加商工会議所（山崎委員）

- ・今回 P5 で説明していただいた、パリポリくんバスを使用しない方の意見の中で「徒歩や自転車を利用するから」という意見が大半で、「路線バスを利用するから」という意見もある程度いるという状況で、内訳は明確になっています。
- ・気になる点としては、P7 にある案①のルートは行きと帰りが別のルートになっているところになります。我々の感覚としては、バス停はそれぞれ道の反対側にあるという印象が強いです。道案内の際にも「反対側にあるよ」と案内してしまうかもしれません。そういったことを踏まえても案の②の方が、わかりやすくてよいのかと思います。
- ・実証実験ということもありますし、改善計画としては案②の方がよいのかと思います。

（旧）草加市婦人連合会（大谷委員）

- ・皆さんのお話を聞いておりました、すごく納得しております。バス停はやはり両サイドにあるものだと思います。新栄団地のご高齢の方にとって、バスは絶対に必要なものだと思いますし、時間を短縮できる案を検討いただけたということは素晴らしいことだと思います。
- ・当然煮詰めればもっと色んなことも見えてくるのだとは思いますが、現状としては、私も案②の方がよいのかと思います。

（福）草加市社会福祉協議会（馬場委員）

- ・個人的には案②のルートは大分端折ってしまったな、という印象です。確かに案①は行きと帰りが違うという混乱も生じるかとは思いますが、案②はさざんか通りのところの需要があるのかという点が気になっています。
- ・あくまでも改善案ということなので、実際に試してみて、新田駅経由の時より利用者が増えるのかどうか見てみなくてはいけないのかなと思います。

会長（小谷会長）

- ・ありがとうございます。先ほど事務局から説明がありました通り、現状の収支率が非常に低い状況であり、何かしら手を打って改善していくことが求められている状況ですので、そのためにルートを利用しやすい形に変えて、一度試してみるというのが、事務局としての考えということになります。
- ・案①、案②それぞれに1長1短があり、どちらが良いかというのは見えないところもあります。事務局としてはどちらが良いと考えますか。

事務局

- ・先ほどご意見でありました通り、新田駅の経由をなくすことで時間短縮が見込めること、路線バスとの明確な役割分担ができること、今後、需要が増加することが見込まれる獨協大学前駅を往復で利用できることを踏まえまして、案②を推奨致します。

会長（小谷会長）

- ・了解しました。内山先生はいかがですか。

東京理科大学元教授（内山副会長）

- ・事務局の方で色々と努力してこういった結論を出したということはよくわかるのですが、元来、パリポリくんバスを導入した目的は交通不便地域を解消するという事だったかと思えます。そうすると、このアンケート結果は交通不便地域に住んでいる人のものかという点が疑問になります。全体を一緒にしているという事だと、不便地域でない通常の人が文句を言っているだけ、という形でとらえられてしまいます。なので、この資料で市の方針とするのはいかなものかと思いました。
- ・P4で迂回するのが嫌だという趣旨の回答がありますが、これも言ってみれば健常者のわがままともとらえられますよね。迂回することで、不便地域の人を救っているのだという事がこの資料だとわかりません。
- ・繰り返しになりますが、このアンケート結果からだ、ルート変更によって交通不便地域の人が増えたという話が見えてきません。もし、交通不便地域の人を対象としたのにも関わらず、3人とか4人とかしか乗らないという結果でルートを考え直すということであるのであれば、別の考え方がでてくるのではないかと思います。
- ・例えば、交通不便地域解消だけでなく交通弱者、つまり自転車にも乗れない、徒歩も難しい、そういった人にパリポリくんバスが貢献し、パリポリくんバスの役割を広げるといった話もある。そうなった際に、それらを満たしているルートになっているかということが、重要になります。
- ・P5の普段パリポリくんバスを使わない人の意見に振り回されてルートを決定してしまうのはいかなものでしょうか。
- ・高齢者が多く住んでいる地域を通っているか、そういったチェックがありません。このルートは高齢者が多く住んでいますよ、という証明をすることが必要です。
- ・高齢者が多く住んでいるとしても、バスが目の前に来なかったら利用しません。そこで警察なども協力して、なんとか高齢者の住んでいる場所の真ん前にバス停を持ってくるといった努力も重要です。
- ・付け加えるのであれば、固定的に利用してくれる、つまり通勤・通学に利用してくれる人にも乗ってもらえるような方向で考えるのであれば、このアンケート結果は役に立つのかとも思います。
- ・デジタル化してきている世の中ですので、もう少し詳しく分析する義務があるかと思えます。

会長（小谷会長）

- ・ありがとうございます。パリポリくんバスを導入した目的といった点も含めて副会長の方からご指摘を頂きました。対象者はどこであるのか、このアンケートの結果だけだとそこが見えてこないため、もう少し分析が必要ではないかということかと思えます。

草加市町会連合会（鳥海委員）

- ・原点に戻って、なぜ新栄団地を不便地域としたのかという点が単純な疑問になります。

事務局

- ・コミュニティバスを運行するにあたって、公共交通再編計画というものを策定させていただきました。策定時には様々な調査をさせていただきまして、その結果から市立病院を起点として交通網を作成するという方針にしまして、その中で市立病院への乗り換えが2回以上となるという点を交通不便地域の条件として設定しました。また、既存のバスが運行しているところでも1日あたりのバスの運行本数が12本未満の地域も交通不便地域にしております。
- ・お手元に図がなくて申し訳ないのですが、こちらのように不便地域を図示したものがありまして、新栄団地は新田西部地区の他の地域とともに、不便地域にしているという状況になります。こちらの結果を受けまして、現在新田ルートが走っているということになります。

会長（小谷会長）

- ・補足させていただきます。新栄団地はバスが通っているのに不便地域かと、そういう風に思われるかもしれません。ただ、過去の経緯として、市立病院が新田にあったという事も背景にあります。昔は路線バス1本で市立病院に行けたのに、市立病院が移転して乗り換えなくてはいけなくなったという意見が多く挙がりました。こういった経緯も踏まえての新田ルートという観点もございます。

東京理科大学元教授（内山副会長）

- ・今、交通不便地域の図を見させていただきましたが、ここに住んでいる方は何人くらいいるのでしょうか。エリアだけ示して、そこに人が住んでいないという事では意味がないです。

事務局

- ・手元に町丁目の人口等のデータがございませんので、具体的にはお答えできませんが、再編計画を策定する際には、町丁目別人口で3区分に基づき分析したという経緯はございます。

東京理科大学元教授（内山副会長）

- ・交通不便地域の図と町丁目別の区分がぴったりと重なることはないかと思います。

事務局

- ・詳細は確認できなくて申し訳ございませんが、おそらくぴったりと重なるという事はないかと思います。現在、新しい計画も策定する段階ではありますが、先生のおっしゃる交通弱者対策という視点も考えさせていただきたいと思います。

会長（小谷会長）

- ・やはり、ルートを変えろということ、しっかりとしたデータに基づく必要があると思います。頂いた意見を踏まえまして、もう一度検討させていただければと思います。

事務局

- ・アンケートの詳細を補足で説明させていただければと思います。お手元の参考資料をご確認いただけますでしょうか。先ほどの資料での説明は抜粋という事で説明させていただきました。こちらでは詳細の内容を示しております。P11には75歳以上の「病院利用時でパリポリくんバスを利用しない際の理由」になりますが、新栄団地において「時間がかかるから利用しない」という意見が23%あるという状況です。P14については、75歳以上の方の「どのように改善したら利用するか」という設問に対する回答になります。新栄団地については、何らかの改善をした場合に、市立病院を利用するという回答が40%であることがわかります。こういった詳細の部分も改善運行計画を考える際には見させていただいております。
- ・また、改善運行計画を策定する際に最も大事にしたこととして「交通不便地域を拡大させないこと」を意識しております。以上、補足となります。

草加商工会議所（山崎委員）

- ・よろしいでしょうか。先ほど副会長がおっしゃられたようなコミュニティバスのミッションであったりとか、本来の役割とかは十分わかるのですが、そこからスタートしたものが今、3年目を迎えて、結果、収支率が悪いという状況かと思えます。これをどのように改善するのが、今回の議題だと認識しています。そのため、ここにフォーカスしていかないといくら議論しても前に進まないかと思うのです。副会長がおっしゃられたような人口の分布などは、リーサスなどを使えばいくらでも町丁目別人口に基づいたデータなどは作れます。それを路線のルートに張り付ければある程度のものが見えてくると思えます。それで見て、落としどころをどこにするかだけはぶれないでいただきたいと思えます。今回の目的は収支率を上げていく、1日の利用者を上げていくということに対してのものかと思えます。それにコンサルの方も同席されていますので、意見をそこに集約していただければよいのではないのでしょうか。
- ・ちょっと乱暴かもしれませんが、我々は経済界の人間ですので、新たにマーケティングをしていくという際にはこのようなことをします。100点を取るのか、70点にするのか60点で合格とするのかは、判断だと思えますので。そこを踏まえて、計画を前に進めていただくのが大切かと思えます。

会長（小谷会長）

- ・貴重なご意見、ありがとうございます。私も含め、もう少し整理させていただければと思います。

(旧) 草加市婦人連合会 (大谷委員)

- 皆さんの言っている意見は全部わかります。正しいと思います。いろんな面で調査したら調査しきれないことがいっぱい出てくると思います。会長がまた後日改めて会議で結論を出すとおっしゃいましたが、本来は今日結論が欲しかったものが3か月後、4か月後になるという事もあります。計画を進めていくという事は重要だと思います。
- はっきり言って 65 歳以上の方は元気です。車も運転しますし、バスを使わない場合も、たまたま定刻通りにバスがなくてタクシーを使っちゃおうとかいうこともあります。決してコミュニティバスに絶対に乗らない、というわけではないかと思います。確かに市民はわがままな面もあります。どうしても私たちは弱者の立場なので。ただ、意見を言って本当に乗っているかは確かにわかりません。
- ただ、皆さんが頑張っていてやっていただいていることはわかります。一生懸命やっていると思います。

会長 (小谷会長)

- 先ほど言いました通り、ルートを変えるという事は大きな影響を与えるということになりますので、しっかりと説明できる根拠を再度整理させていただきたいと思います。そして、皆様に再度説明させていただく形で進めさせていただきたいと思います。

草加市町会連合会 (鳥海委員)

- 収支というのは大きいと思います。役所で面倒をみるからいいんだという事であれば色々なルートをやれると思います。だから収支を突き詰めていくとこういう壁にぶつかるといふ事かと思います。

会長 (小谷会長)

- ありがとうございます。この件については、一度預からせていただくという事でお願い致します。

議事 地域公共交通会議のウェブ会議方式導入について

- ・新型コロナウイルスの蔓延防止、会議の効率化、紙資源の省力化等の観点から Web 会議を導入する自治体も増えており、本会議でもウェブ会議のシステムを導入することを検討する旨を説明した。

会長（小谷会長）

- ・この会議についてもウェブ会議を行っていいかというものになります。具体的にどういった場面かは、事務局から説明をお願いします。

事務局

- ・これまでのようにご出席頂くことを前提としているのですが、モニター等を設置しまして、ウェブでの参加も並行して行えるようにすることを考えております。

会長（小谷会長）

- ・今日のような会議が基本となり、その上でウェブも使用するという事です。多くの方の意見が聞きたい会議ですので、職場、ご自宅の方で参加ができるのであればご意見も聞けますので、そういったことも含めました提案となります。

（旧）草加市婦人連合会（大谷委員）

- ・どちらでもよいことなのかとは思いますが、意外とウェブ会議は時間がとられます。どこでもパソコンを開いてできる分かと思いますが、私としては、今まで通りでもいいのかなとは思いますが。

事務局

- ・あくまで手段の拡充という事で提案させていただいたものですので、基本はこれまで通りの会議をベースにして進めていき、感染症が拡大してきた際や、体調が少し悪いなどやむを得ない場合の手段として、活用もできるというご理解を頂ければと思います。

会長（小谷会長）

- ・参加できない方が必ずウェブ会議で出席しなくてはならないという事ではありませんので、柔軟に対応できる形にしていきます。この議題につきましては、導入するという事でよろしいでしょうか。

一同《承認》

報告 地域公共交通計画策定に係る方針等（案）について

- ・現在、策定されている「草加市公共交通再編計画」及び「草加市地域公共交通網形成計画」について、国の法律に基づき、両計画の内容を見直した上で、バスだけでなく新たに公共交通全体に対して方向性を示す「地域公共交通計画」の素案を本年度に策定し、来年度にパブリックコメントによりご意見を頂くスケジュールである旨を説明した。
- ・新計画の内容について、現在、事務局で持っているイメージを概要版として作成していることを説明した。
- ・新計画策定において委員と相談しながら進めたいと考えている、コミュニティバスに係る次の4項目の内容について説明を行った。
 - ①コミュニティバスの定義について
 - ②交通不便地域の定義について
 - ③サービス水準（運賃・運行頻度・土休日運行）について
 - ④収支率及び運行評価基準について

会長（小谷会長）

- ・収支率や運賃、基本的な定義なども含めまして見直しの機会があるという事になります。今日も、収支率が悪いから改善しなくてはならないという議論をしておりますが、その根底の部分に関する議題になります。本日は大分お時間を頂いておりますので、改めてこちらに関して意見を頂く場を設けさせていただければと思います。
- ・それでは、次の報告をお願いします。

報告 パリポリくんバスの3ルートの実績について

- ・北東ルート、南西ルート、新田ルートいずれも設定ラインの収支率50%に達していない状況であることを説明した。

会長（小谷会長）

- ・収支率を数値だけで報告させていただいた形になりますが、報告させていただきました。本日の議事と報告は以上になります。

【当日の会議の様子】



署名欄

山崎 修



大谷 久美子

